

古比や

第296号

(令和元. 7. 1)



7月25日 燈籠神事（仮舞殿を囲む燈籠）

祭事暦

七月 中

二日

月次祭（午前十時）

十日

交通安全特別大祭（午前十一時）

十八日

神輿祭（午前十一時）

二十五日

燈籠神事大御膳献進（午前九時）

二十六日

神輿渡御・大燈籠巡行（午後九時）

還御祭（午前九時）

献華・献茶祭（午前十一時）

八月中

二日

月次祭（午前十時）

十日

交通安全月次祭（午前九時）

二十五日

撰社 桜井神社例祭（午前十一時）

二十七日

相撲節会（午前九時半）

末社

上諏訪神社例祭（午前十時半）

末社

下諏訪神社例祭（午前十時）

九月中

一日

風神祭（午前十時）

二日

月次祭（午前十時）

九日

末社 十柱神社例祭（午前十一時）

十日

交通安全月次祭（午前九時）

十五日

撰社 妻戸神社秋季祭（午前十一時）

末社

二十二所社例祭（午前十一時）

二十三日

秋季皇靈祭遣挙式（午前十時）

勇壯
華やかに

燈籠神事

重要無形民俗文化財



見せる。
二十四日の晩には前夜祭が行われる。弥彦燈籠祭協賛会による大民謡流しなどの神贋行事が行わ
れ、祭り気分も一段と盛り上がりを

れる。

二十二日には、『お慣し』(おまいし)の舞童二名を選定する式である。この舞は、大祭当日に御神幸の行列が還御

の後、拝殿前の特設舞殿で奉
奏される。

神事は七月十二日の『舞童選定式』から始まる。一社古
伝の舞である『神歌樂』(かが
らく)、『天犬舞』(あまいぬ
のみ)の舞童二名を選定する式である。この舞は、大

祭

統いて、十八日には拝殿に
二基の御神輿を奉遷して『神
輿祭』が奉仕され、神社側と
町方のそれそれで、『素講』す
こゝ』が執り行われる。

二十二日には、『お慣し』(お
まいし)が行われる。舞童

の舞の習熟度合を検分する儀
式である。またこの日には、
造花やポンボリで飾
られた各燈籠講中の大
燈籠十三台が、『花揃
え』と称して回廊両側
に勢揃いし、当日前まで
据えられる。参道に揚
げられた一千燈あまり
の奉納田楽燈籠にもこ
の夜より灯が入り、参
道が美しく照らし出さ

り、『燈籠神事』が、七月二十五日を中心にして盛大に斎行される。古くから、「弥彦の燈籠押し」と呼ばれて広く県内外から親定されている伝統ある神事である。越後の夏まつりを代表し日本三大祭として勇壮華麗に執り行われる。

舞童選定式

素講・お慣し

の後、拝殿前の特設舞殿で奉
奏される。

続いて、十八日には拝殿に
二基の御神輿を奉遷して『神
輿祭』が奉仕され、神社側と
町方のそれそれで、『素講』す
こゝ』が執り行われる。

神事の中でも最大の賑わいを呈する弥彦の夜まつりは、越後の夏まつりを代表し日本三大祭として勇壮華麗に執り行われる。



▶ 子供燈籠

還御祭と 献華・献茶祭

翌二十六日には、『還御祭』
が斎行され、十五日間に及ぶ
長い神事が終了する。

道を埋める観衆。その中を雅
びやかな神幸の樂が流れ、一
キロ余を御巡行の列が進む。
二時間余りかけて町内を一
巡した御神輿が神社に還御す
ると、拝殿前に特設された
舞殿を大燈籠が開み、『神歌
樂』、『天犬舞』が舞童により
厳かに奉奏される。

大燈籠巡行

神事・行事予定

七月十二日 拝童選定式

正午・素講

十一時・神輿祭

二十二日 十五時お慣し

夕刻花揃え

二十四日 夕方 前夜祭

(神賑行事)

二十五日 九時 大御膳献進

大御膳献進

二十一時 神輿渡御

大燈籠巡行

二十二日 駅伝大会

。青年・子供燈籠、芸

妓連たるみこし

。里神樂奉納

。弥彦山たいまつ行進

。奉納花火

。大燈籠巡行

。神賑行事

。駅伝大会

。青年・子供燈籠、芸

妓連たるみこし

。里神樂奉納

。弥彦山たいまつ行進

。奉納花火

弥彦山頂にて

春季神廟祭斎行

五月十日、弥彦山頂（六三四メートル）、御祭神・天香

山命（アメノカゴヤマノミコト）と妃神・熟穂屋姫命（ウマシホヤヒメノミコト）を御

祀りする御神廟において、春



茅の輪まつり

夏越しの大祓斎行

盛夏を前に疫病退散、除災
招福を祈る「茅の輪まつり」
が、本年も六月二十五日から
三十日まで執り行われ、県内

外よりの多数の参拝者が茅の
輪をくぐり参拝していた。

三十日午後三時からは「夏
越しの大祓式」が、氏子・崇
敬者ら多数参列のもと執行さ
れ、「茅の輪くぐり」の神事

季神廟祭が、渡部宮司以下の
奉仕により厳粛に斎行され、
県民の福祉と五穀の豊穣、登
拜者の安全などが祈られた。
当日は青空が広がり、若干
風が強かつたものの、御神廟
前の祭典には、山頂諸施設関
係者、山岳会員等の崇敬者多
数が神前に額ずいた。



御祈祷奉納者芳名

（平成三十一年三月一日より）
（令和元年五月三十一日まで）敬称略

特別大祈祷奉納

西蒲原郡 弥彦競輪
東京都 エルエヌジージャパン㈱
住友商事(株)
大阪府 フエス(株)

西区 伴昭彦
ヤマト運輸(新潟主管支店)

新潟市中央区 (株)NHKテクノロ
竹石松次

鶴尾英一郎
(株)松井組
(有)なかよしミート

上越市
(株)大谷製作所グループ
(株)エム・アイ・ディジャパン

新潟市中央区 (株)新潟本店
西蒲原区 (株)宮川組
越のかがやき米改良協会

長岡市 (株)日本マントル・ケエスト㈱
福島県 (有)晴進建設
埼玉県 瑞穂の会・聖零の会
蓮華 瑞穂の会

特別祈祷奉納

三条市 小古瀬農産
長岡市 大原電業(株)
(株)大原鉄工所
小千谷市 小杉土建工業(株)
東京都 日本電気(株)
上越市 越後運輸建設(株)
西蒲原郡 大門建設㈱

新潟県／弥彦温泉
政府登録国際観光旅館（登録1984号）

四季の宿



T959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦
0256-94-2010(代)
FAX 0256-94-4463

新潟の冬に鍛えられた
除雪機



フジイコーポレーション(株)
燕市小池285番地
TEL 0256-64-5511

弥彦山開き 開催

去る四月十四日、弥彦観光
協会主催による第二十回弥彦
山開きが開催された。

当日は多くの登山客が集ま
り、登山口でテープカットが
行われた。

い や ひ

践祚改元奉告祭 斎行

「劍璽等承継の儀」が宮中
にて厳かに斎行され、平成よ
り「令和」と改元された去る

五月一日、当神社では午前九
時より「践祚改元奉告祭」を
宮司以下奉仕により中祭式
をもって斎行し、皇室の弥栄

と我が國の益々の繁榮をご祈
念申し上げた。

境内は連休中ということも
あり多数の参拝者が賑わい、
特に令和最初の御朱印をいた
だこうと、授与所に列をなし
た。

特別祈祷奉納

西蒲原郡 (株)日本マントル・ケエスト㈱
福島県 (有)晴進建設
埼玉県 瑞穂の会・聖零の会
蓮華 瑞穂の会

別大祈祷奉納

新潟市北区 渡邊亭

東区 小池宏幸 甲田貞二

中央区 株式会社メディックス 阿含

宗新潟地区 石井正人

西区 青木太一郎

西蒲区 株式会社中村鉄工所

燕市 和平フレイズ MS 株

西蒲区 青木太一郎

西蒲区 石井正人

御即位奉祝記念事業

参拝者休憩所地鎮祭斎行

御即位奉祝記念事業として、

隋神門下南側の旧第二社務所

を解体し、同地に参拝者休憩

所を新築する計画がすすめら

れている。

相馬禰宜以下の奉仕で、大地

去る五月十三日には地鎮祭

が斎行された。渡部宮司を始

め工事関係者十二名が参列し、

西蒲区 青木太一郎

西蒲区 石井正人

西蒲区 青木太一郎

西蒲区 石井正人

西蒲区 青木太一郎

西蒲区 石井正人

西蒲区 青木太一郎

西蒲区 石井正人



▶ 割初の儀

四月中 十日 東京都大國魂神社宮司

十三日 東京都菅原神社宮司池
神奈川県八王子神社宮
司櫻井明彦氏外一行参
拝

十四日 東京都菅原神社宮司池
田豊彦氏外一行参
拝

三月中

十日 彌彦神社氏子会参拝

十三日 神奈川県八王子神社宮
司櫻井明彦氏外一行参
拝

十七日 東京都菅原神社宮司池
田豊彦氏外一行参
拝

十一日 彌彦神社敬神婦人会参
拝

猿渡昌盛氏奉賛会会长

小島壽一郎氏外一行参
拝

十二日 大阪府杭全神社瑞鳳会
宮司濱江正謹氏外瑞鳳
会一行参拝

彌彦神社敬神婦人会参
拝

東京都エルエヌジー
ジャパン株式会社代表取締役

社長川原博司氏外一行
参拝

茨城県大洗磯前神社宮
司飯塚重氏外氏子總代

弥彦温泉

西蒲原郡 沢田川博朗

西蒲原郡 宇田川博朗

西蒲原郡 青木千夏

西蒲原郡 小林晃

西蒲原郡 柴田千夏

西蒲原郡 会弥彦支店

保険委員会燕支店 五十嵐嘉紀

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

田

佳

弘

三

条

市

吉

外
祭

三月中
二十九日
四月中
三日
燕市高倉栄氏新潟県議
会選挙當選祈願

会選挙事務所開き
十四日 古川原直人氏長岡市議
五月 中 会選挙必勝祈願
三十日 弥彦村三光之飾献米獻
圃田清祓
築地鎮祭
弥彦村分水堂葉子舗改

新潟市北区 松浜講
江南区 原 寛
秋葉区 四十五人講
西区 大野町講

燕市	南区
西蒲区	白根講
新飯田講	ク ク
茨曽根講	ク ク
福井大々講	ク ク
卷弥彦神社敬神講	ク ク
道金講	ク ク

燕市 小中川誠心講
旧松永正心講
燕不動講
三大字講
小池講
兩関敬神明和会
藏関大々講
下保内講
東光寺講
渕村講
島田講

大々神樂講参拝



五月四・五日の両日にわたり「彌彦神社日本鶏の会」では第五十四回日本鶏品評会を、御即位奉祝記念大会として境内にて開催した。

日本鶏の品評会は全国でも少なく、長野、福島、宮城、山形、埼玉など県外からの出品も増えている。鳴き声の長

も開かれ、大型連休中とのこともあり多くの人達で賑わつた。
出品された愛鶏七十三点は厳正に審査され特別賞三十点の入賞者が決定された。主なる入賞者は左記の通り。

第五十七回県下小中学生写生大会が、五月五日の「こどもの日」に開催された。午前九時に児童福祉祭が祭行され、祭典に参列した参加者は画用紙を受け取り、境内思い思いの場所で絵筆をふる

つた。当日は好天に恵まれ、約八十名の参加があった。提出された作品は厳正に審査され、金賞以下二十三点が選ばれた。

これら入賞作品は五月二十一日から六月二十日までの間、境内の絵馬殿に展示され公開された。金賞受賞者は左記の通り。

A photograph capturing a candid moment in a traditional Japanese setting. In the foreground, three children are sitting on a gravel path, focused on an activity on the ground. Behind them, several adults are standing and talking, some in pairs. The architecture features prominent wooden pillars and sliding doors, characteristic of a traditional Japanese residence or temple. The overall atmosphere is one of a quiet, everyday scene.

△金賞幼稚園児の部
よこやま なつね
(よしだ保育園)

△同小学生低学年の部
佐藤 泰河 (中条小二年)
多田 紘 (兩川小五年)

△同小学生高学年の部
飛田 悅樹 (弥彦中一年)
星野 雪 (江陽中二年)
高野 徹裕 (小須戸中三年)

△同中学生の部
△

